

だけで、ナビゲーションするという活用が考えられる。

「DoCoですCar for BUS」を導入した「丸の内シャトルバス」

三菱地所他の地元企業は運営中の「丸の内シャトルバス」にNTTドコモの「DoCoですCar for BUS」を導入した(図3参照)。

丸の内シャトルバスは、大手町～丸の内～有楽町～日比谷の周回ルート(バス停11ヵ所)を約30分で、2台で運行する無料バスである。DoCoですCar for BUSを導入したことにより、運行管理者によるPCからの運行状況の確認、及び一般の方が携帯電話からバス運行状況等の情報を確認することが可能となった。待ち時間や運行状況の把握がスムーズになり利用満足度が向上し、運行管理者もバス位置を容易に把握することができる。

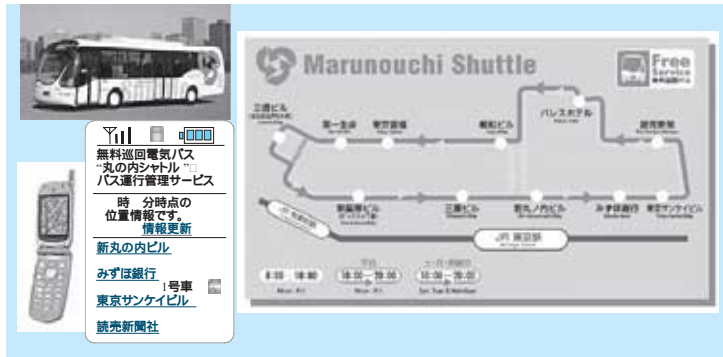


図3 「DoCoですCar for BUS」を導入した「丸の内シャトルバス」

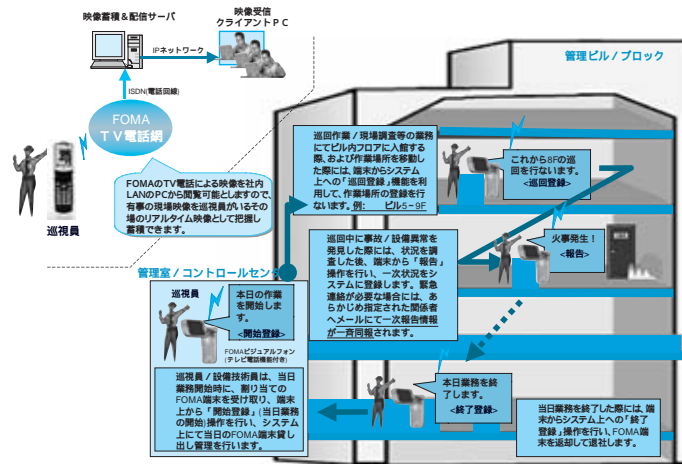


図4 FOMAを利用したビル管理システム

ビル管理システム

ビル管理システムは、FOMA端末を勤務中の警備・設備技術員全員に所持させて、通常の音声通話に加え、現場巡回中に異常を発見した場合に、一次報告をFOMA端末を利用して画像も含め一斉メールすることにより、迅速な報告を可能としている。また、現場の状況をFOMAテレビ電話機能によりリアルタイム映像で送信することで、離れた場所でも正確な現状把握が可能となる(図4参照)。この機能は、緊急時の一次報告の迅速化を図り、よりの確な初動対応を行うことを目的とする。このシステムは本年9月の運用開始を予定している。

また、年末の丸の内恒例となった「東京ミレナリオ」において、「光の笑顔モニュメントシステム」の提供を行なった。これは、光ファイバーを使用したモニター「ミントビジョン」に映る光のモニュメントをバックに、iショットでの写真撮影を行うもの。実物の光のモニュメントの前で撮ったようなデジタル画像の作成が可能で、好評を博した。

NTTドコモと三菱地所は、今後も街づくりへのモバイルITの活用を積極的に展開していく予定であり、中でも携帯電話端末のFeliCa対応等多機能化は、電子決済や入退室管理

などの機能を充実させ、丸の内地区の就業者の生活パターンや、訪れる買い物客の動向に密着した高度なサービスの提供ができるようになって考えている。

これからもモバイルを活用したソリューションは、最先端のモバイルマルチメディア技術により、より快適で利便性の高い街づくりに貢献していこう。

お問い合わせ先

DoCoMo Business Online
http://www.docomo.biz/028